

斑点米カメムシ類の特徴

【アカスジカスミカメ】

アカスジカスミカメ <飛翔性>



- ・体長4.6～6mm
- ・体色はやや光沢があり濃い黄緑色。
- ・前翅会合部に橙赤色の太い縦条がある。
- ・触角と腿節も赤い。
- ・嶺南地域～嶺北南部に多い。

福井県農業試験場

- (1) 畦畔など水田周辺の雑草地で卵で越冬。 カソロンの散布で雑草を枯らす効果大
- (2) 春はスズメノカタビラ、夏はメヒシバを好む。 穂をつけない雑草管理
- (3) 5月中旬から越冬世代成虫が発生し、その後約 30 日サイクルで3世代発生する。
- (4) 成虫の寿命は7～10日。 出穂期の10日前までに畦畔の除草を行う
- (5) ホタルイが多いと水田内への侵入が多くなる。ホタルイに効果の高い除草剤を使用
- (6) 口針は弱く籾殻は貫通できないため、籾の隙間から口針を刺し込み吸汁する。
- (7) 薬剤には弱い。 穂揃期と糊熟初期の適期防除の実施
- (8) 高温年は9月上中旬に第4世代が発生する。 中晩生でも適期防除が必要

クモヘリカメムシ <飛翔性>



3齡幼虫(体長10mm)



- ・体長15～17mm
- ・体色はやや光沢のある黄緑色。
- ・体は細長い。
- ・嶺南～丹南地域に多いが近年発生域が広まりつつある。

福井県農業試験場

- (1) 山林のスギなどの葉上で成虫で越冬。 山沿いの水田で発生多
- (2) 水田周辺の雑草では、エノコログサを好む。
- (3) 6月下旬と8月上旬の2世代発生する。
- (4) 成虫の寿命は30日。 加害期間が長い
- (5) ヒエ等イネ科雑草が多いと、早期に水田内に侵入し定着する。 ヒエ等の除草
- (6) 口針は弱く籾殻は貫通できないため、籾の隙間から口針を刺し込み吸汁する。
- (7) 薬剤には弱い。 穂揃期と糊熟初期の適期防除の実施
- (8) 他のカメムシより発生時期が遅く、8～9月に増加。 中晩生でも適期防除が必要
- (9) 集合フェロモンを出し、群れて集中加害する。 局部的に多発生